

安全衛生環境基本理念

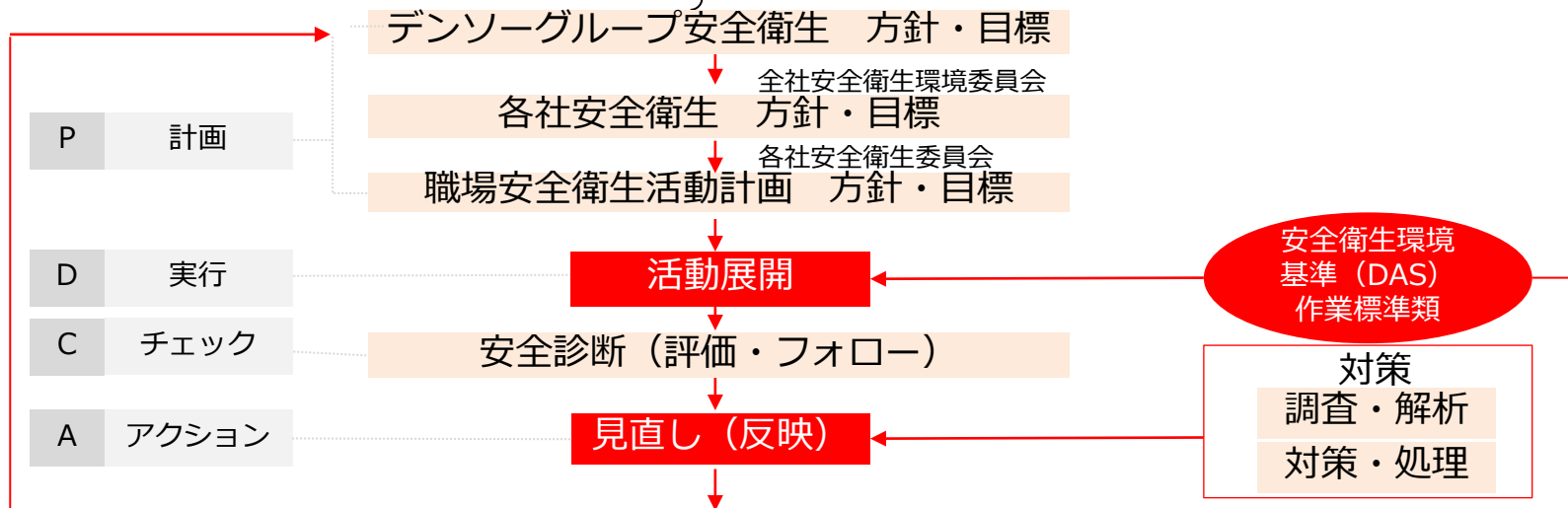
人は働くことによって生命を失うことはもとより、健康・身体機能を損なうことがあってはならない

- 1.安全で働きやすい職場づくりこそ、人間尊重と高生産性を両立させ得る最善策であることを徹底する
- 2.国内外のすべての事業活動において、地球環境の保全、生態系や資源保護に配慮すると共に、環境保全を通じ、地域社会との共生に努める
- 3.これらの活動は、各機能、各職制および職場の一人ひとりが創意と工夫を結集し、全員参加で行う

労働安全衛生マネジメント

「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針（OSHMS）」を参考にPDCAサイクルを回す事によって、継続的な安全衛生管理・事業場の安全衛生水準の向上を図っています。また、国際標準化機構（ISO）で策定しているISO45001の導入に向け、更なるマネジメントシステムを構築し、法令遵守及び、従業員の安全と健康確保を徹底しています。

〔デンソー労働安全衛生マネジメントシステム〕



安全衛生に関するアセスメントの実施

新規ラインに対するアセスメント

設備・化学物質の危険源の特定を行い、ADAS/DAS※に基づいてリスク低減対策を策定し、設備設計に反映させ製作し、安全確認を行っています。

また、設備の完成後は、生産ラインでの作業内容及び環境に焦点を当てて、リスクアセスメントを実施しています。抽出されたリスクについては、物理的な安全対策や教育・訓練、作業要領書への反映などを行っています。

※ADAS=デンソーエレクトロニクス安全衛生環境基準、DAS=デンソー安全衛生環境基準

既存ラインに対するアセスメント

安全衛生マネジメントシステムの一環として、経営層によるトップ巡回を行い、安全最優先の徹底を図っています。

2021年度～2023年度の実績

年度/項目	2021		2022		2023	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
災害件数(不具合含む)	1	2	1	1	1	2
休業度数率	0	0	0	0	0	0.22
強度率	0	0	0	0	0	0.002

安全衛生活動

「対話3-3活動」として、管理・監督者が職場内を1日3カ所、1カ所につき3分間立ち止まって作業方法・行動・設備を観察しています。また、各職場の安全衛生管理者巡回により、不具合点を指導・改善し、良い点は褒めることで、主に行動面からのルール遵守・徹底をしています。

作業者の方は、「スイッチ切らず」災害の撲滅を目的に、異常時に“確実に設備を止める”よう、指差呼称及び「3S及びファーストタッチはデレッキ使用」※活動で、災害防止を図っています。

※「3S」とは、異常時に「確実に設備を止める」ための正しい手順であり、「SW(スイッチ)を切る」「SW切りヨシ」「STOPヨシ」の頭文字をとったもの。3S実施後の処置では、直接、手を入れずに専用工具（デレッキ）を用いる。

〔写真〕 実際の対話風景



外来工事作業者の安全確保

構内で施設・設備の設置・改造移転等を行う関係会社とともに、構内作業マニュアルを定め、災害防止を図っています。

今後の取り組み

安全と健康に配慮した働きやすい職場環境にむけた取り組みは、ますます重要になってきています。

これからも爆発火災・重大災害などを出さない体制づくりや災害教訓のデンソーグループ内共有・風化防止のための活動に取り組み、デンソーグループ一丸となって更なるレベルアップをめざします。